

カザグルマ *Clematis patens* C. Morren et Decne. の豊かな花色について

所沢 あさ子 *

カザグルマ *Clematis patens* C. Morren et Decne. の花色は濃い青紫色、紫色、ピンク色等の濃淡がある豊かな色相であることを、飯田市山本のハナノキの生育する湧水湿地群 (以下ハナノキ湿地と呼ぶ。所沢) 周辺の新産地 4 か所で見つけたので報告する。

はじめに

カザグルマ *Clematis patens* C. Morren et Decne. はキンポウゲ科センニンソウ属、花は径が 10cm もある美しい植物で、長野県版レッドリストランク 1A に記載され長野県野生動植物保護条例指定種である。

長野県におけるカザグルマの生育地は飯田下伊那郡に集中している。注目したのは花色である。一般的には淡紫色とシロバナカザグルマ *Clematis patens* C. Morren et Decne. f. *leucantha* Okuyama と言われる白色である。隣の岐阜県ではすべて白花 (高野裕行 2019) の報告がある。飯田下伊那郡でも殆どがシロバナカザグルマで飯田市山本三ツ山、飯田市箱川、阿智村春日、飯田市伊賀良臼井川周辺などに点々と生育地がある。そして稀に淡紫色があり、高森町市田 420m (堤久)、飯田市箱川 560m、飯田市臼井川沿いなどで確認している。

報告

カザグルマの花色が濃い青紫色、紫色、ピンク色などの濃淡と白花色まで豊かな色相を新産地 4 か所で見つけた。生育地は飯田市山本のハナノキ湿地周辺である。所沢あさ子が撮影した写真と産地報告をする。

ハナノキ湿地群周辺における新産地 A.B.C.D. の 4 か所のカザグルマの花色の紹介

◆ A. 自生地

1. 濃い青紫色 (写真 1) 飯田市山本標高 755m 産。2023 年 5 月 10 日撮影。

※ 16 年以上前、下記 3 の自生地でヒノキの日陰の

実生を数本避難させた中の 1 個体。下記の 2 も同様。

2. 紫色 (写真 2) 飯田市山本標高 755m 産。2023 年 5 月 12 日撮影。

3. 淡い紫色 (写真 3) 飯田市山本標高 755 m。2008 年 5 月 24 日撮影。

※その後日陰で絶滅。

◆ B. 自生地

4. 淡いピンク色 (写真 4) 飯田市山本標高 693 m。2023 年 5 月 14 日撮影。

2022 年ブッシュの中で発見。地主の了解をいただき、ツルが上に登るように支えを作り、クズ、フジ、マツブサ、ツルウメモドキなどをたびたび除いた。2022 年に花は無し。2023 年に花は 30 個も咲く。

◆ C. 自生地

5. 淡い淡い紫色 (写真 5) 飯田市山本標高 612 m。2023 年 5 月 5 日撮影。

シロバナカザグルマと共にあり、水田と樹木の茂る路肩に生育。管理もされている様子。道路を挟んだ下流域阿智村七久里 580m ~ 600 m シロバナカザグルマ自生地が 6 か所もあり、リニアの土捨て場と開発計画がある。中には 590m 付近ハナノキが群生しシロバナカザグルマ、ミカワバイケイソウ、ミヤコアザミ、ザゼンソウ等生育する良好な湧水湿地が存在する。更に下流域阿智村春日にシロバナカザグルマの生育地が点々とある。

◆ D. 自生地

6. 白色 (写真 6) 飯田市山本標高 613 m。2023 年 5 月 14 日撮影。

2023 年カザグルマが高速道路のフェンスに絡まり、路肩に群生してるのを発見。30 年以上前から高速道路の反対側の山裾には生育地があるが殆ど花を見た事がなかったので大変驚いた。

まとめ

報告のカザグルマの花色は、濃い青紫色、紫色、ピンク色などの濃淡や白色もあり豊かな色相である。秘めた魅力があり大変美しい植物である。ハナノキ湿地周辺にカザグルマの生育地がある。ハナノ

* 所沢あさ子 長野県飯田市 ajrm@hi3.enjoy.ne.jp



写真1 濃い青紫色



写真2 紫色



写真3 淡紫色



写真4 ピンク色



写真5 淡い淡い紫色



写真6 白色

キ湿地は貧栄養で帰化植物が入りこめないシステムがある。長い歴史の中で栽培品種と交配したことがあるかもしれないが、現在、野生である。今ある色の多様性が貴重である。飯田下伊那郡のカザグルマは植栽林やフジなどによるに日陰で絶滅寸前である。そればかりでなくリニアなどの土捨て場計画や生育地の寸断が進んでいる。湧水湿地群環境を保全し、それぞれの生育地を大切にしたい。

謝辞

カザグルマの生育地の保護を快く受け入れてくださった土地所有者の金沢一典氏を始め土地所有者の皆様、管理をしてきた皆様、案内して下さった市東典子氏、これまで情報をいただいた四方圭一郎氏や地元の皆様、心から感謝申し上げます。

参考文献

- 門田裕一 (2021) フィールド版 改訂新版 日本の野生植物 1 平凡社：378
牧野富太郎 新日本植物図鑑：158
長野県植物目録編纂委員会 (2017) 長野県植物目録：81
長野県植物誌編纂委員会 (1997) 長野県植物誌：339
長野県環境部自然保護課・長野県環境保全研究所自然環境部 (2014) 長野県版レッドリスト 植物編：30
高野裕行 (2019) 岐阜県植物誌 文一総合出版：352
堤 久 (2020) 高森町の動植物：104

